

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 第六中学校 校長 鵜飼 康成

1 学校教育目標

- ①自ら学び目標をもって努力しよう
- ②互いに尊重し助け合おう
- ③困難に耐え心と体を鍛えよう

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①学校図書館を利用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ②学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,086 冊（蔵書基準冊数 9600 冊）／ 蔵書率 146.7%（前年度末 142.1%）									
	② 新規購入図書 439 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 439 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.8%	2.6%	10.4%	8.9%	9.8%	4.4%	2.2%	10%	5.4%	43.3%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	①開館時間：授業時、毎日昼休みから17時20分									
	②生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.96 冊（前々年度末：4.67 冊）									
	③学校図書館利用率 605%（前々年度末：507%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①学校図書館の基本的な利用の仕方、図書の扱い方等を身につける。 ②学校図書館を利用して、課題に対する調べ方などの情報活用能力を育成する。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館のきまりや仕組みを理解することができる。 ②「ブックツリー」の読書推進活動に参加し、様々な分野の本に関心を寄せることができる。 ③魚沼自然教室や校外学習の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。		①学校図書館オリエンテーションにおいて、学年全生徒の受講率100% ②ブックツリーの感想カードの提出率50% ③魚沼自然教室・校外学習の事前学習において、課題の提出率100%
目標達成状況		
① ② ③		

第2学年	① 読書の幅を広げ、多くの分類にわたる読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 調べ学習等で、学校図書や新聞等を適切に活用して知識を深めることができる。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書を活用して読書を行うことができる。 ② 「ブックツリー」の読書推進活動に参加し、様々な分野の本に関心を寄せることができる。 ③ 職場体験や校外学習の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。	① 学年一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年比 10%増 ② ブックツリーの感想カードの提出率 60% ③ 職場体験・校外学習の事前学習において、課題の提出率 100%
目標達成状況	
① ② ③	
第3学年	① 読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書や新聞、I C T機器等を活用した探究活動を通して、適正な情報選択能力や表現力の育成を図る。
今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書を活用して読書を行うことができる。 ② 「ブックツリー」の読書推進活動に参加し、様々な分野の本に関心を寄せることができる。 ③ 修学旅行の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。	① 学年一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年比 10%増 ② ブックツリーの感想カードの提出率 70% ③ 修学旅行の事前学習において、課題の提出率 100%
目標達成状況	
① ② ③	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。 ② 蔵書構成を念頭に新規図書購入計画を立て、選書を行う。 ③ 全蔵書について「3桁分類」への転換作業を行う。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施や図書委員会の活動において資料作成や生徒の活動支援等を、支援員と積極的に連携・協働して行う。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ キャリア教育や宿泊行事・校外学習等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。 ④ 学校図書館だよりの発行や図書の展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。	

【その他】

①年度末の貸出返却率が 100%となるように積極的に声掛けをするなどの取り組みを行う。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**